

⚠ 警告

- 本製品はパーツが付属しており、口に入れる場合、窒息の恐れがありますので、乳幼児の手の届かない場所に置いてください。
- 取り扱い説明書の内容をご確認いただき、組み立て方法を完全に了解してから始めてください。わからない場合、弊社にお問合せください。
- 天板の強度が長時間で、十分アームとモニターの重量に耐えられることをご確認ください。
- 安全のため、付属の部品を使って、二人で作業を行ってください。取り扱い地を誤った場合、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 二ヶ月ごと接続部分の固定状況をご確認ください。モニターの重量を確認した上で組み立ててください。最大耐荷重9kgを超えないよう、ご注意ください。

注意：

- 室内でご利用ください。外で使用するなら損害あるいは人身傷害を起さる恐れがあることをご了承ください。
- 湿度の高い場所に長時間置かないでください。サビの原因になります。

警告：

- 本製品はガス圧部品が付属しているので、火に投入、加熱、分解などを絶対にしないでください。ケガの原因になります。
- 製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
- 安全のため、付属している部品をご使用ください。

モニターアーム製品保証規定

お客様の正常なご使用状態において不具合が発生が発生した場合、当該部品を交換いたします。製品保証対応を受ける場合には、ご注文番号をご用意のうえ、弊社窓口までご相談ください。

【保証適用の範囲】

通常の使用状態における自然故障

※故意または過失による破損は保証適用外となります。

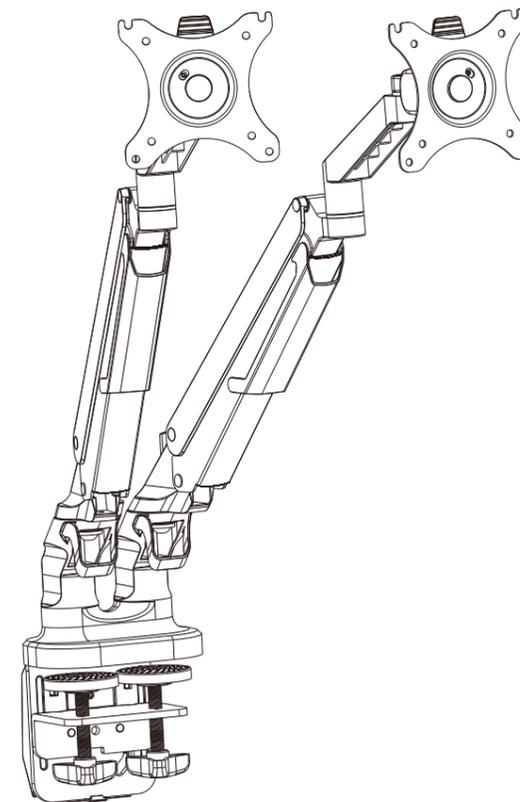
【保証対応】

該当部分単位での交換対応

- ・製品保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ・製品保証は日本国内においてのみ有効です。
- ・並行輸入品について保証規定の対象外となります。

お問い合わせ窓口
※<https://flexispot.jp/contact/>

FLEXISPOT



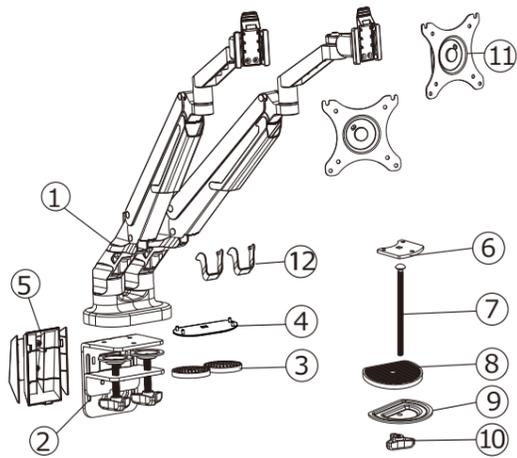
型番：F8LD

取り扱い説明書



パッケージ内容

部品構成:



- ①アーム×1
- ②ベースブラケット1×1
- ③滑り止め用ゴムパッド1×2
- ④滑り止め用ゴムパッド2×1
- ⑤ケーブルカバー×1
- ⑥ベースブラケット2×1
- ⑦ボルト×1
- ⑧滑り止め用ゴムパッド3×1
- ⑨抑え板×1
- ⑩ノブ×1
- ⑪ディスプレイ取り付け部×2
- ⑫クリップ×2

ボルトセットと工具:

- | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|
| A.  | B.  | C.  | D.  | E.  | F.  |
| M4 x12mm
(x8) | M5 x12mm
(x8) | M6 x12mm
(x3) | ワッシャー
(x16) | 4 x 4六角レンチ
(x1) | 5 x 5六角レンチ
(x1) |

組み立て用工具 (注: ご用意ください):

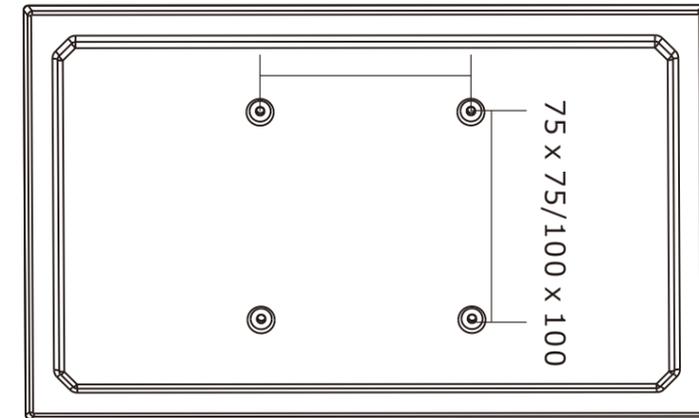


組み立てステップ

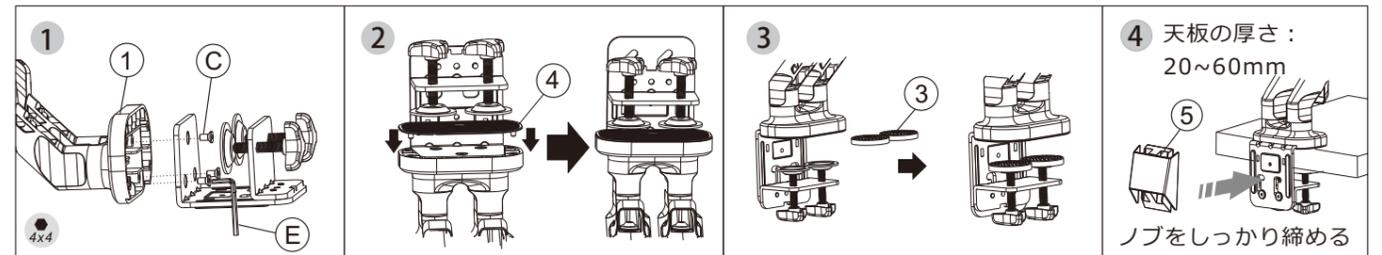
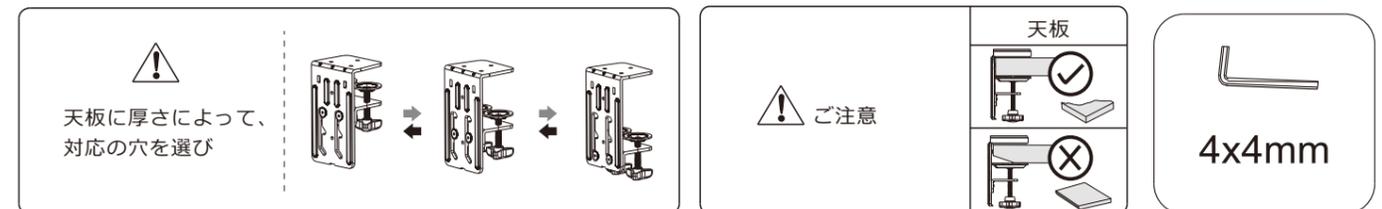
ステップ1: 組み立て前の準備

1. モニターのVESA規格をご確認ください (100x100mm/75x75mm)。VESA穴がないと、**インストールできないことをご了承ください。**
2. オリジナルのベースブラケットを取り外してください (モニターによる取り外す方法が異なります)。
取り付け・取り外しの際には、液晶パネル面を傷つけないようご注意ください。

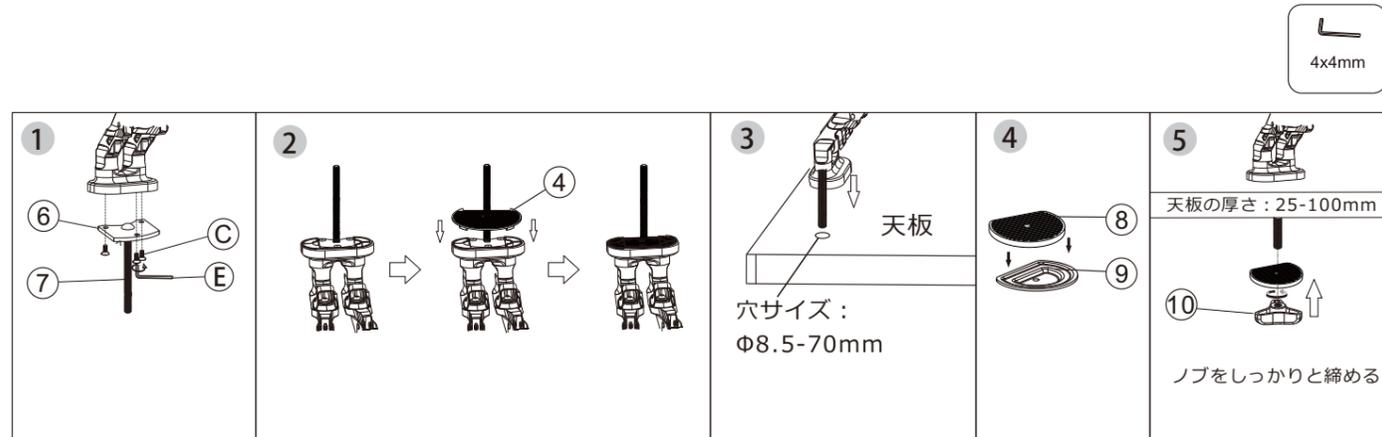
75 x 75/100 x 100 mm



ステップ2-A: クランプ式



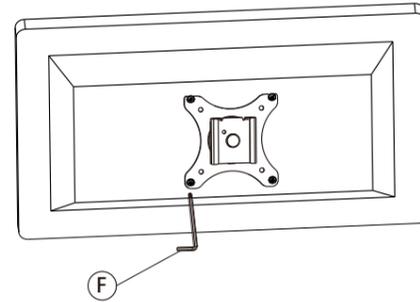
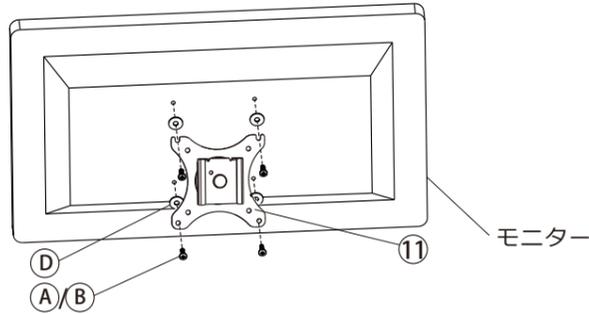
ステップ2-B: グロメット式



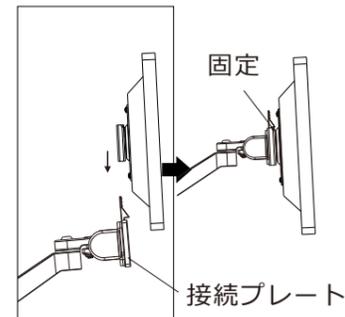
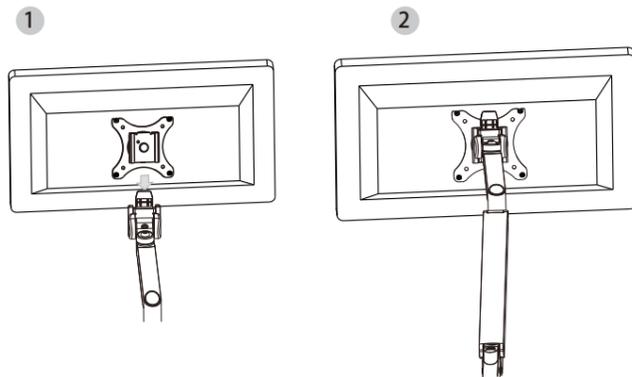
ステップ3: ディスプレイの取り付け

1 実際状況によってワッシャー (D) を使う

2 5×5六角レンチ (F) でネジをしっかりと締める

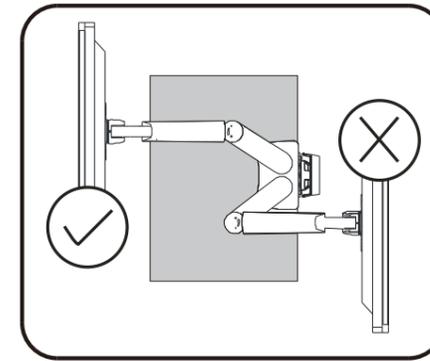


ステップ4: モニターの取り付け

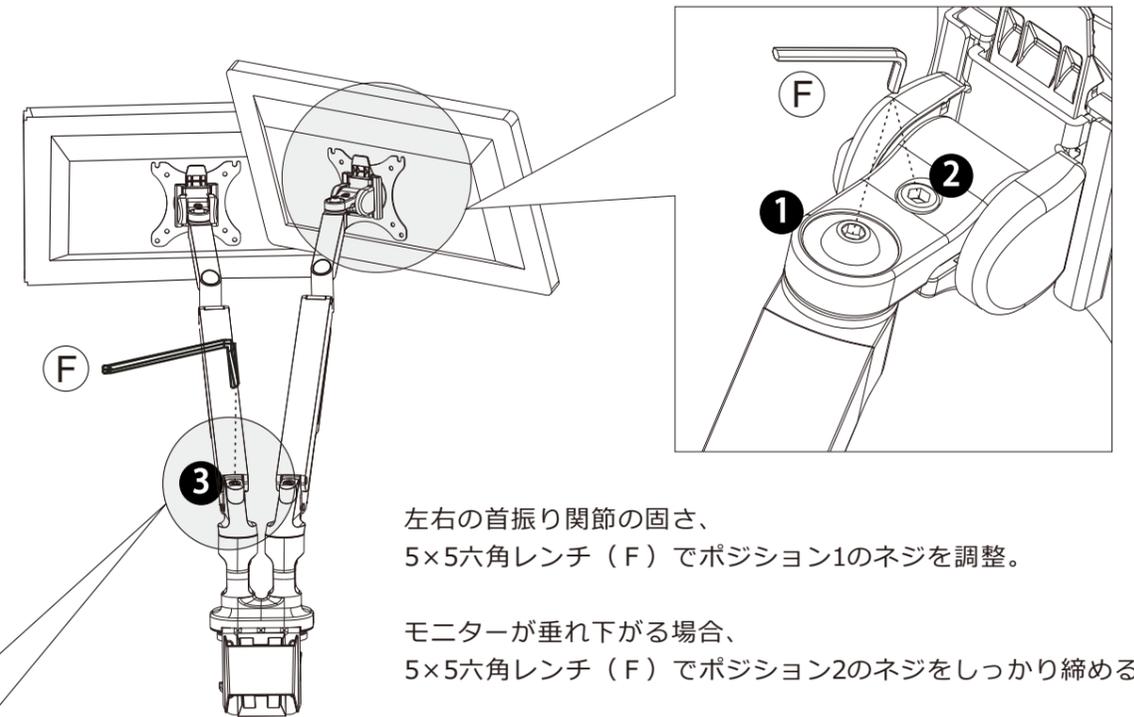


ディスプレイ取り付け部をアームに垂直方向 (上から下へ向かって) に差し込んで下さい。

ステップ5: アームの調整



⚠ 安全のため、モニターを裏面に移動しないでください。



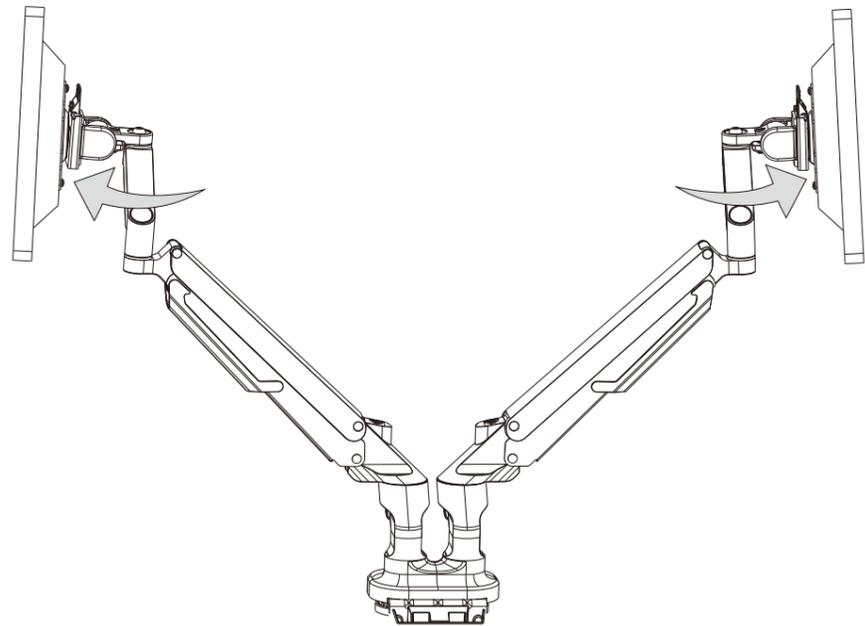
左右の首振り関節の固さ、
5×5六角レンチ (F) でポジション1のネジを調整。

モニターが垂れ下がる場合、
5×5六角レンチ (F) でポジション2のネジをしっかりと締める

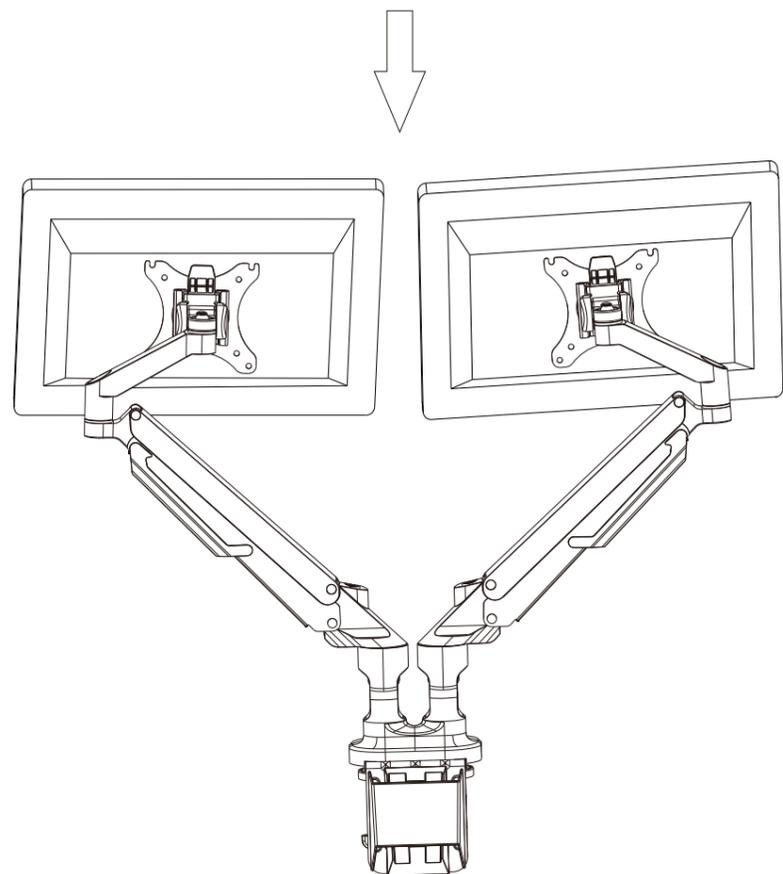
⚠ 工場出荷時設定 : 5-7kg
組立完了後、
モニターの高さが任意位置で固定できない場合、
5×5六角レンチ (F) でアームのボルトをまわして耐荷重を調整。

反時計回り (+) . . . 耐荷重を増やす
(モニターが下がってしまう場合)
時計回り (-) . . . 耐荷重を減らす
(モニターが上がってしまう場合)

ステップ6 : アームの角度調整

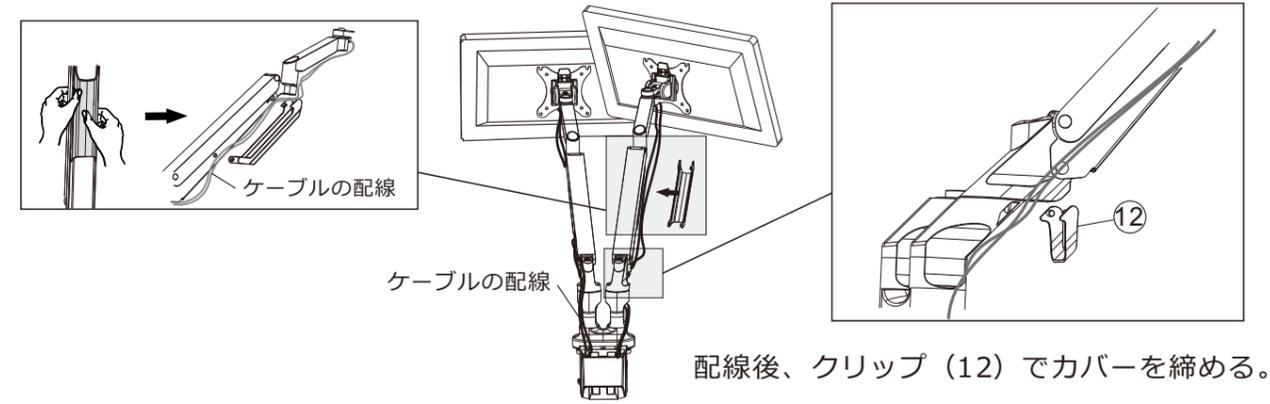


モニター 2 面の横並びが可能



ケーブルの配線

アームの背面にはケーブル回線用の空間があり、カバーを外してケーブルを中に入れることができる。



外形寸法、可動範囲について

